

高品質シクラメン 365日間の挑戦

園芸福祉科 3年

伊藤 聖清 伊藤 柊馬 伊東 玖恋

加藤 柚 島貫 真美 大竹 明日香 土屋 心結

1. はじめに (シクラメンの STEP7)

シクラメンは冬から春にかけての代表的な鉢花で、花と葉のバランスがよく、室内で花が長期間楽しめるのも魅力の一つです。

STEP 1 シクラメンは11月下旬にタネをまきます。「ん？11月？シクラメンは11月に出荷するのに？」そうです、シクラメン栽培は仕上げるのに約11～12か月かかります。シクラメンは球根ではなくタネから作るのをご存じだったでしょうか？

STEP 2 「植え替え1回目」2月下旬、昨年の11月にタネまきしてからおよそ90日で3号ポットへ植え替えます
まだまだ赤ちゃんシクラメンです

STEP 3 「植え替えから1ヶ月」

「1ヶ月でこれだけ？」と思うかもしれませんがシクラメンの成長は遅く、じっくりじっくり育てていきます。

STEP 4 「植え替え2回目」 STEP2で植え替えしたシクラメンも2ヶ月ちょっとでまた鉢替えです。今回は3号ポットから6号鉢への植え替えです。下に敷いてあるマットは鉢の中の水分量を均一に近づけるものです。

STEP 5 「葉組み」 定植してから1ヶ月くらいしてくると、シクラメンが暴れ始めます。シクラメンといえばもりもりの葉に、花は真ん中に集まり咲いていますよね。しかしそれは「葉組み」という作業を繰り返すことによって「人」が作りこんでいるのです。実は自然のままでは中々きれいに咲かないのです。

 **はじめに ～シクラメンSTEP7～**

- 代表的な花鉢
- 長期間楽しめる魅力

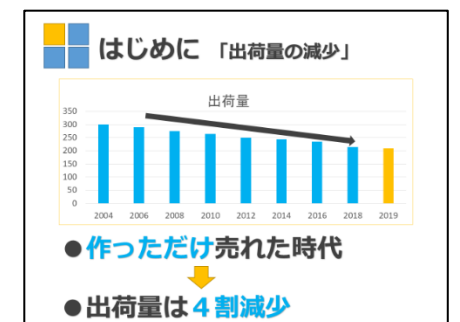
2021園芸産シクラメン

 **はじめに (STEP1) 「タネまき」**

- シクラメンは11月播種
- シクラメン栽培1年以上

 **はじめに (STEP5) 「葉組み」**

- シクラメンが暴れる
- 人が作り込んでいる



STEP 6 「追肥」 シクラメンは秋口からますます元気になっていきます。肥料も真夏とは比べ物にならないくらいバクバク食べます。日常の灌水から常に液肥を施しますが、9月ころからはそれだけでは足りなくなるため、土の上に「置肥」します。肥料が足りないと花の本数や色、葉の枚数や色も悪くなってしまいます。

到達目標・・・

- ① 自家育苗に挑戦する
- ② 需要の高い、葉にボリュームのある花付きの良いシクラメンを目指す
- ③ 規格外のシクラメンをなるべく出さない

2. 実施計画

- ①根と葉の関係を探る
- ②花鉢の大きさの違いによる調査
- ③病気ゼロを目指す

3. 実施内容

試験 1 慣行栽培と水耕栽培

これは昨年、置農で栽培されたシクラメンの写真です。同じ土で、同じ鉢で、同じ温室で、同じように追肥をし、栽培しました。しかし、こんなにも生育に差があり「良いもの」と「悪いもの」の差が大きいのが現状でした。シクラメンに限ったところではありませんが、作物を育てるといのは「苗半作」といって、苗の時期の出来で半分以上決まると言われています。苗作りは、12月に出荷するシクラメンの良し悪しを決める大事な作業なのです。そこで生育のバラつきを減らし、かつ高品質な生産を目指すべく、水耕栽培に着手しました。

4. 実施内容

試験 2 花鉢の違いによる比較調査

到達目標



- ① 自家育苗に挑戦
- ② 需要の高いシクラメン
- ③ 規格外を出さない

実施内容「試験 1 慣行と水耕」



昨年度のシクラメン

- 同じ環境下でも…
- 「良い物」と「悪い物」との差が…

実施内容「試験 1 慣行と水耕」



- ポリポット 慣行区
※培養土を使用・灌水は水耕区と同じ液肥を使用
- 液肥 水耕区
※ピータース1500倍液を使用

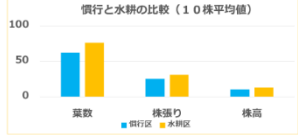
実施内容「試験 1 慣行と水耕」



調査項目

- ① 葉数
- ② 株張り
- ③ 株高

実施結果「試験 1 慣行と水耕」



慣行と水耕の比較（10株平均値）

項目	慣行区	水耕区
葉数	62枚	76枚
株張り	25cm	31cm
株高	10cm	13cm

- 慣行区
葉数 62枚 株張り 25cm 株高 10cm
- 水耕区
葉数 76枚 株張り 31cm 株高 13cm

シクラメンは大鉢にすればするほど、葉枚数や蕾数が増えると言われています。しかし、通常、5号6号鉢で売られているのが一般的です。その上の7号鉢となると鉢替え回数も増え、そのことにより土の量やかん水量が増え、値段もグッと高くなります。

4. 報告 病気ゼロへ

シクラメンは、球根の上に茎が密集しており、葉が重なり合って根元の周りを覆うため、通気性が悪く、乾きにくく蒸れやすい形状をしています。この通気性の悪さこそが、シクラメンにカビが生えやすい原因の一つです。毎年のシクラメン栽培の課題であった「灰色かび病」という病気が発生しやすく、灰色かび病にかかると、花柄や葉柄に灰色っぽいカビが発生し、花弁に1mm程度の小さな斑点ができたり、球根にもカビが発生します。カビが発生したところから腐っていくため注意が必要になります。対処法としては、まず風通しの良い環境と日当たりの良い環境で育てること、そして、一番大事な点は、花柄、葉柄摘みです。傷んだ花や葉は、適宜取らなくてはなりません。傷んだものをそのままにしておくと他の葉や球根に付着してそこからカビが発生します。私たちができることとして、この花柄、葉柄摘みを徹底的に行いました。たかが「花柄・葉柄摘み」されど「花柄・葉柄摘み」を実感しました。

今後の課題

- ・さらなる高品質シクラメン栽培を目指し、液肥の違いによる栽培に挑戦したい
- ・2・3年物のシクラメン栽培に挑戦したい
- ・シクラメンの良さを知ってもらいたい

STEP 7 「仕上げ・販売」

葉組み、花寄せを何度も繰り返し、1年以上かけて作り上げたシクラメンを地域の方々の顔を見ながら販売できるのはとてもうれしいことであり、達成感が湧きあがります。来年も高品質栽培に向け挑戦します。

実施内容「試験2 花鉢の比較調査」



- 大きい鉢に負けない
- 6号鉢 vs 7号鉢

実施内容「試験2 花鉢の比較調査」

7号鉢



6号鉢



実施内容「試験2 花鉢の比較調査」

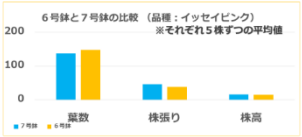


調査項目

- ① 葉数
- ② 株張り
- ③ 株高

実施結果「試験2 花鉢の比較調査」

6号鉢と7号鉢の比較 (品種: イッセイピンク) ※それぞれ5株ずつの平均値



項目	6号鉢	7号鉢
葉数	148	137
株張り	38cm	46cm
株高	15cm	15.5cm

- 7号鉢
葉数 137枚 株張り 46cm 株高 15.5cm
- 6号鉢
葉数 148枚 株張り 38cm 株高 15cm

実施報告「病気ゼロへ」



- 茎が密集 葉が根元を覆う
- 通気性が悪く 乾きにくい

（ 伊藤柊馬 ） 一年を振り返って。今年は昨年に続きシクラメンの栽培をしました。一番はじめにする播種では、土をたいらにした後に種を一か所に固まらないようにまくのが大変でした。あと、葉ぐみをするのも大変でした。なぜなら、毎時間おんなじ作業をしなければいけないので途中から飽きてくるからです。でもこの作業をしないとシクラメンが病気になって枯れるのでとても重要な作業です。シクラメン販売をしたときは、地域の方々が喜んで買ってくれるので育ててよかったなという気持ちになりました。

（ 伊藤聖清 ） 今年一年を振り返って、昨年に続きシクラメンの栽培を行いました。大変だったことは、播種と葉ぐみが大変でした。その理由は、細かい作業が多いからです。でも、その細かい作業を怠ると良いシクラメンが作れなくなるからです。逆に、シクラメンを育ててみて良かったことは、販売実習で川西町や米沢市に売りに行くと毎年良いシクラメン売りに来てくれてありがとうなどの声をいただけるからです。大変な作業でしたが、とても楽しかったです。

（ 伊東玖恋 ） 今年度シクラメン研究を振り返ると凄くあっという間だったと思います。ほぼほぼ葉組みをした記憶しかありませんし、最後は怒涛の販売実習でした。一番やりがいを感じた事は、販売実習に行ったとき買ってくださいの方がみんな嬉しそう笑って綺麗なシクラメンだねと言ってくれたことです。私たちが作ったシクラメンがこんなに人に喜んでもらえるとは思わずこちらまで嬉しく感じました。私たちのシクラメンは今年度で終わりですが、これからも置農には綺麗なシクラメンを育てていってほしいと思います。

（ 大竹明日香 ） 二年生から引き続きシクラメン班としてやってきて、正直ほとんど葉組みをしていた記憶しかないし同じ作業ばかりで面倒くさいと思っていました。しかし、実際に自分たちが育てたシクラメンを自分たちで販売した際、買ってくださいの方たちが「ありがとう」と言ってくださいました。購入者の笑顔を見て嬉しい気持ちになったのはもちろん、何回も繰り返し作業したあの葉組みをしてよかったなと感じました。今思えばあっという間に過ぎた気がします。この経験を生かして進路先でも頑張りたいです。

（ 島貫真美 ） 課題研究を通して、地道に育てる事・協力する事の大切さを知りました。昨年の学びを活かし葉組みや追肥など細かい所にまで力を入れグレードアップしたシクラメンを作り上げました。販売実習では、私達が育てたシクラメンを喜んで購入してくださる方が沢山いて嬉しかったし、少しの交流でも自分自身コミュニケーション能力が更に上がったと思います。社会に出てもこの経験を忘れず人とのコミュニケーションも大切にしたいです。

（ 土屋心結 ） 一年間の課題研究を過ごして私は、大変なこともあればいつの間にか笑っていたこともありました。去年、育てたシクラメンと変わらず土づくりから始め、葉組などを繰り返してやってきました。夏はとても暑くて温室の中は息苦しく、冬は寒くて温室の中に入っても寒くて震えていました。シクラメンの花が咲く時期まで大変でしたけど、班の皆で育てたシクラメンを販売して、そのシクラメンを地域の人たちが買ってくれて嬉しかったです。